

(様式1)

平成24年11月2日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月2日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物A)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 1	0.120	0.098

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 1	0.031	0.023	0.008

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 2	1	0.038	0.039	0.045
	2	0.038	0.043	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 7. 17	ND (13)	13 (11)	13
H24. 9. 4	19 (18)	29 (18)	48
H24. 10. 4	ND (10)	ND (11)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月2日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物B)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 ストックヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 1	0.106	0.098

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 1	0.030	0.023	0.007

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 2	1	0.042	0.043	0.045
	2	0.042	0.045	
	3	0.043	0.041	
	4	0.044	0.040	
	5	0.043	0.048	
	6	0.036	0.038	
	7	0.039	0.039	

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 10. 2	ND (8.9)	11 (9.0)	11

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月5日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月5日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物A)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 2	0.124	0.103

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 2	0.031	0.022	0.009

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 5	1	0.043	0.038	0.042
	2	0.042	0.041	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 7. 17	ND (13)	13 (11)	13
H24. 9. 4	19 (18)	29 (18)	48
H24. 10. 4	ND (10)	ND (11)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月5日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物B)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 ストックヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 2	0.105	0.103

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 2	0.028	0.022	0.006

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 5	1	0.043	0.044	0.042
	2	0.042	0.046	
	3	0.042	0.042	
	4	0.038	0.040	
	5	0.040	0.038	
	6	0.045	0.046	
	7	0.041	0.042	

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 10. 2	ND (8.9)	11 (9.0)	11

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月14日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月14日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物A)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 13	0. 121	0. 101

※搬出基準: (A) $\leq 0. 23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 13	0. 028	0. 022	0. 006

※搬出基準: (C) $\leq 0. 01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 14	1	0. 041	0. 041	0. 045
	2	0. 046	0. 043	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0. 23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 9. 4	19	(18)	29	(18)	48
H24. 10. 2	ND	(10)	ND	(11)	ND
H24. 11. 2	ND	(14)	ND	(13)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月14日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物B)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 13	0.118	0.101

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 13	0.029	0.022	0.007

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 14	1	0.043	0.044	0.045
	2	0.036	0.039	
	3	0.043	0.044	
	4	0.041	0.040	
	5	0.041	0.038	
	6	0.042	0.041	
	7	0.043	0.043	

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 10. 2	ND (8.9)	11 (9.0)	11
H24. 11. 2	ND (7.2)	ND (8.6)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月13日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月13日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物A)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24.11.12	0.125	0.096

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24.11.12	0.028	0.023	0.005

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24.11.13	1	0.042	0.042	0.043
	2	0.042	0.042	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A)又は(B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24.9.4	19 (18)	29 (18)	48
H24.10.2	ND (10)	ND (11)	ND
H24.11.2	ND (14)	ND (13)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月13日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物B)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 12	0.094	0.096

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 12	0.031	0.023	0.008

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 13	1	0.039	0.042	0.043
	2	0.043	0.039	
	3	0.044	0.046	
	4	0.041	0.044	
	5	0.041	0.040	
	6	0.034	0.040	
	7	0.045	0.043	

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 10. 2	ND (8.9)	11 (9.0)	11
H24. 11. 2	ND (7.2)	ND (8.6)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月12日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月12日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物A)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24.11.9	0.120	0.099

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24.11.9	0.030	0.022	0.008

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24.11.12	1	0.041	0.042	0.042
	2	0.041	0.045	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A)又は(B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24.9.4	19	(18)	29	(18)	48
H24.10.2	ND	(10)	ND	(11)	ND
H24.11.2	ND	(14)	ND	(13)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月12日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物B)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24.11.9	0.101	0.099

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24.11.9	0.030	0.022	0.008

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24.11.12	1	0.047	0.046	0.042
	2	0.043	0.044	
	3	0.040	0.037	
	4	0.038	0.041	
	5	0.039	0.047	
	6	0.042	0.037	
	7	0.041	0.041	

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24.10.2	ND (8.9)	11 (9.0)	11
H24.11.2	ND (7.2)	ND (8.6)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月9日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月9日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物A)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24.11.8	0.145	0.100

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24.11.8	0.033	0.024	0.009

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24.11.9	1	0.045	0.040	0.042
	2	0.042	0.046	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A)又は(B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24.9.4	19 (18)	29 (18)	48
H24.10.2	ND (10)	ND (11)	ND
H24.11.2	ND (14)	ND (13)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月9日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物B)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24.11.8	0.130	0.100

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24.11.8	0.033	0.024	0.009

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24.11.9	1	0.041	0.047	0.042
	2	0.041	0.041	
	3	0.041	0.052	
	4	0.034	0.038	
	5	0.037	0.040	
	6	0.041	0.044	
	7	0.042	0.042	

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24.10.2	ND (8.9)	11 (9.0)	11
H24.11.2	ND (7.2)	ND (8.6)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月8日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月8日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物A)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 7	0.112	0.101

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 7	0.031	0.024	0.007

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 8	1	0.045	0.049	0.043
	2	0.046	0.044	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A)又は(B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 7. 17	ND (13)	13 (11)	13
H24. 9. 4	19 (18)	29 (18)	48
H24. 10. 4	ND (10)	ND (11)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月8日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物B)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24.11.7	0.106	0.101

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24.11.7	0.032	0.024	0.008

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24.11.8	1	0.052	0.058	0.043
	2	0.047	0.047	
	3	0.046	0.048	
	4	0.053	0.061	
	5	0.049	0.049	
	6	0.055	0.056	
	7	0.051	0.051	

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24.10.2	ND (8.9)	11 (9.0)	11

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月7日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 7. 17	18 (10)	38 (11)	56
H24. 9. 4	ND (12)	ND (16)	ND
	()	()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月7日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物A)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 6	0.139	0.113

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 6	0.031	0.024	0.007

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 7	1	0.043	0.041	0.043
	2	0.039	0.048	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 7. 17	ND (13)	13 (11)	13
H24. 9. 4	19 (18)	29 (18)	48
H24. 10. 4	ND (10)	ND (11)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月7日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物B)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24.11.6	0.106	0.113

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24.11.6	0.033	0.024	0.009

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24.11.7	1	0.045	0.045	0.043
	2	0.045	0.042	
	3	0.039	0.045	
	4	0.041	0.042	
	5	0.039	0.044	
	6	0.041	0.044	
	7	0.036	0.037	

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24.10.2	ND (8.9)	11 (9.0)	11

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月6日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月6日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物A)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 5	0. 119	0. 100

※搬出基準: (A) $\leq 0. 23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 5	0. 030	0. 023	0. 007

※搬出基準: (C) $\leq 0. 01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 6	1	0. 043	0. 051	0. 042
	2	0. 045	0. 048	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0. 23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 7. 17	ND (13)	13 (11)	13
H24. 9. 4	19 (18)	29 (18)	48
H24. 10. 4	ND (10)	ND (11)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月6日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物B)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24.11.5	0.102	0.100

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24.11.5	0.032	0.023	0.009

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24.11.6	1	0.053	0.048	0.042
	2	0.048	0.049	
	3	0.045	0.049	
	4	0.041	0.042	
	5	0.055	0.050	
	6	0.050	0.047	
	7	0.045	0.050	

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24.10.2	ND (8.9)	11 (9.0)	11

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月16日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月16日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物A)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24.11.15	0.119	0.101

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24.11.15	0.028	0.023	0.005

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24.11.16	1	0.038	0.044	0.043
	2	0.040	0.046	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A)又は(B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24.9.4	19	(18)	29	(18)	48
H24.10.2	ND	(10)	ND	(11)	ND
H24.11.2	ND	(14)	ND	(13)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月16日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物B)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 15	0.107	0.101

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 15	0.030	0.023	0.007

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 16	1	0.040	0.042	0.043
	2	0.039	0.045	
	3	0.045	0.044	
	4	0.044	0.044	
	5	0.044	0.041	
	6	0.041	0.042	
	7	0.040	0.040	

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 10. 2	ND (8.9)	11 (9.0)	11
H24. 11. 2	ND (7.2)	ND (8.6)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月15日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月15日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物A)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24.11.14	0.120	0.097

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24.11.14	0.030	0.022	0.008

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24.11.15	1	0.040	0.046	0.043
	2	0.042	0.044	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A)又は(B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24.9.4	19 (18)	29 (18)	48
H24.10.2	ND (10)	ND (11)	ND
H24.11.2	ND (14)	ND (13)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月15日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物B)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 14	0.098	0.097

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 14	0.031	0.022	0.009

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 15	1	0.041	0.045	0.043
	2	0.041	0.042	
	3	0.045	0.042	
	4	0.047	0.043	
	5	0.034	0.044	
	6	0.046	0.039	
	7	0.042	0.042	

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 10. 2	ND (8.9)	11 (9.0)	11
H24. 11. 2	ND (7.2)	ND (8.6)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月19日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月19日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物A)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 ストックヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24.11.16	0.118	0.099

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24.11.16	0.030	0.021	0.009

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24.11.19	1	0.049	0.046	0.042
	2	0.047	0.046	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A)又は(B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24.9.4	19	(18)	29	(18)	48
H24.10.2	ND	(10)	ND	(11)	ND
H24.11.2	ND	(14)	ND	(13)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月19日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物B)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 16	0.102	0.099

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 16	0.030	0.021	0.009

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 19	1	0.044	0.043	0.042
	2	0.041	0.042	
	3	0.041	0.044	
	4	0.040	0.042	
	5	0.037	0.040	
	6	0.040	0.036	
	7	0.040	0.047	

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 10. 2	ND (8.9)	11 (9.0)	11
H24. 11. 2	ND (7.2)	ND (8.6)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月20日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月20日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物A)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24.11.19	0.114	0.099

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24.11.19	0.030	0.021	0.009

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24.11.20	1	0.044	0.042	0.043
	2	0.047	0.046	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A)又は(B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24.9.4	19	(18)	29	(18)	48
H24.10.2	ND	(10)	ND	(11)	ND
H24.11.2	ND	(14)	ND	(13)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月20日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物B)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 19	0.098	0.099

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 19	0.030	0.021	0.009

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 20	1	0.047	0.043	0.043
	2	0.036	0.041	
	3	0.046	0.038	
	4	0.039	0.042	
	5	0.040	0.039	
	6	0.041	0.040	
	7	0.040	0.041	

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 10. 2	ND (8.9)	11 (9.0)	11
H24. 11. 2	ND (7.2)	ND (8.6)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月22日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月22日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物A)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 21	0. 123	0. 101

※搬出基準: (A) $\leq 0. 23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 21	0. 031	0. 022	0. 009

※搬出基準: (C) $\leq 0. 01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 22	1	0. 040	0. 048	0. 042
	2	0. 042	0. 041	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0. 23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 9. 4	19 (18)	29 (18)	48
H24. 10. 2	ND (10)	ND (11)	ND
H24. 11. 2	ND (14)	ND (13)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月22日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物B)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 21	0.095	0.101

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 21	0.031	0.022	0.009

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 22	1	0.044	0.042	0.042
	2	0.042	0.042	
	3	0.042	0.042	
	4	0.038	0.042	
	5	0.043	0.042	
	6	0.040	0.034	
	7	0.035	0.036	

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 10. 2	ND (8.9)	11 (9.0)	11
H24. 11. 2	ND (7.2)	ND (8.6)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月21日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 7. 17	18 (10)	38 (11)	56
H24. 9. 4	ND (12)	ND (16)	ND
	()	()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月21日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物A)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 20	0.122	0.101

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 20	0.030	0.023	0.007

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 21	1	0.043	0.043	0.042
	2	0.041	0.042	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A)又は(B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 9. 4	19	(18)	29	(18)	48
H24. 10. 2	ND	(10)	ND	(11)	ND
H24. 11. 2	ND	(14)	ND	(13)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月21日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物B)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 20	0.103	0.101

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 20	0.031	0.023	0.008

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 21	1	0.037	0.043	0.042
	2	0.043	0.042	
	3	0.041	0.041	
	4	0.040	0.044	
	5	0.037	0.039	
	6	0.035	0.036	
	7	0.047	0.045	

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 10. 2	ND (8.9)	11 (9.0)	11
H24. 11. 2	ND (7.2)	ND (8.6)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月28日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月28日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物A)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24.11.27	0.118	0.100

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24.11.27	0.024	0.022	0.002

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24.11.28	1	0.040	0.038	0.041
	2	0.039	0.043	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A)又は(B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24.9.4	19	(18)	29	(18)	48
H24.10.2	ND	(10)	ND	(11)	ND
H24.11.2	ND	(14)	ND	(13)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月28日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物B)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 27	0.100	0.100

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 27	0.031	0.022	0.009

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 28	1	0.040	0.038	0.041
	2	0.036	0.044	
	3	0.037	0.041	
	4	0.040	0.036	
	5	0.041	0.041	
	6	0.048	0.040	
	7	0.041	0.041	

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 10. 2	ND (8.9)	11 (9.0)	11
H24. 11. 2	ND (7.2)	ND (8.6)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月27日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月27日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物A)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24.11.26	0.118	0.100

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24.11.26	0.028	0.025	0.003

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24.11.27	1	0.041	0.044	0.042
	2	0.039	0.044	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A)又は(B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24.9.4	19	(18)	29	(18)	48
H24.10.2	ND	(10)	ND	(11)	ND
H24.11.2	ND	(14)	ND	(13)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月27日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物B)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 26	0.103	0.100

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 26	0.034	0.025	0.009

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 27	1	0.039	0.043	0.042
	2	0.041	0.042	
	3	0.043	0.040	
	4	0.046	0.041	
	5	0.041	0.038	
	6	0.041	0.039	
	7	0.039	0.042	

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 10. 2	ND (8.9)	11 (9.0)	11
H24. 11. 2	ND (7.2)	ND (8.6)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月26日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 7. 17	18 (10)	38 (11)	56
H24. 9. 4	ND (12)	ND (16)	ND
	()	()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月26日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物A)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 22	0.120	0.101

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 22	0.031	0.023	0.008

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 26	1	0.041	0.045	0.042
	2	0.041	0.046	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A)又は(B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 9. 4	19	(18)	29	(18)	48
H24. 10. 2	ND	(10)	ND	(11)	ND
H24. 11. 2	ND	(14)	ND	(13)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月26日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物B)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 22	0.100	0.101

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 22	0.032	0.023	0.009

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 26	1	0.039	0.040	0.042
	2	0.036	0.038	
	3	0.039	0.040	
	4	0.045	0.041	
	5	0.042	0.044	
	6	0.038	0.033	
	7	0.040	0.042	

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 10. 2	ND (8.9)	11 (9.0)	11
H24. 11. 2	ND (7.2)	ND (8.6)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月30日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月30日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物A)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 29	0.123	0.094

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 29	0.025	0.023	0.002

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 30	1	0.042	0.042	0.042
	2	0.042	0.044	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A)又は(B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 9. 4	19	(18)	29	(18)	48
H24. 10. 2	ND	(10)	ND	(11)	ND
H24. 11. 2	ND	(14)	ND	(13)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月30日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物B)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 29	0.097	0.094

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 29	0.032	0.023	0.009

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 30	1	0.046	0.037	0.042
	2	0.039	0.045	
	3	0.037	0.041	
	4	0.042	0.039	
	5	0.040	0.035	
	6	0.040	0.042	
	7	0.049	0.045	

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 10. 2	ND (8.9)	11 (9.0)	11
H24. 11. 2	ND (7.2)	ND (8.6)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月29日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (可燃物)

(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
	※可燃物搬出なし。	

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
	※可燃物搬出なし。		

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
	1	※可燃物搬出なし。		
	2			
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24. 7. 17	18	(10)	38	(11)	56
H24. 9. 4	ND	(12)	ND	(16)	ND
		()		()	

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月29日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物A)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24.11.28	0.117	0.099

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24.11.28	0.026	0.023	0.003

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24.11.29	1	0.043	0.046	0.042
	2	0.043	0.046	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A)又は(B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaIシンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
H24.9.4	19	(18)	29	(18)	48
H24.10.2	ND	(10)	ND	(11)	ND
H24.11.2	ND	(14)	ND	(13)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

(様式1)

平成24年11月29日

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (不燃物B)
(石巻ブロック二次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
H24. 11. 28	0.096	0.099

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
H24. 11. 28	0.032	0.023	0.009

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率 単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
H24. 11. 29	1	0.040	0.034	0.042
	2	0.038	0.036	
	3	0.041	0.039	
	4	0.043	0.040	
	5	0.041	0.037	
	6	0.041	0.044	
	7	0.038	0.040	

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分) 単位: Bq/kg

測定日	セシウム134	セシウム137	合計(A)
H24. 10. 2	ND (8.9)	11 (9.0)	11
H24. 11. 2	ND (7.2)	ND (8.6)	ND

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは、検出下限値未満を表す。また、()内は検出下限値を表す。